

## 日本電気株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について



京都銀行（頭取 安井 幹也）は、日本電気株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

サステナビリティ・リンク・ボンドは、発行体があらかじめ設定した「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）」の達成度合いに応じて条件が変化する債券です。

本債券は、同社が2023年6月に策定したサステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークに基づき発行されています。同社は、このフレームワークが国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」（2020）、環境省の「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン」（2022年版）に適合している旨、株式会社 格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 記

#### <本債券の概要>

銘 柄	日本電気株式会社第66回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
年 限	5年
発 行 額	200億円
発 行 日	2025年7月25日

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

